

地域の危険度の目安に

地震ハザードマップを作製

東日本大震災の教訓を踏まえて、市民の皆さんに地震災害に対する意識を高めってもらうため、「地震ハザードマップ（A1判8つ折り）」を作製しました。

マップは、本市に大きな被害を及ぼすことが予想される6つの地震（上林断層地震・郷村断層帯地震・山田断層帯地震・養父断層地震・三峠断層地震・若狭湾内断層地震）の揺れの強さを予測し、最大となる震度を色別に表示した「揺れやすさマップ」や建物被害の程度（建物全壊率）を示した「地域危険度マップ」などを掲載。また、地震に対する知識や地震災害への備え、地震発生時にとるべき行動、避難所なども掲載しています。

日ごろから自分の家やよく通る道などをチェックするとともに避難所を確認し、家庭や地域で連絡方法や集合同場所などについて話し合っておきましょう。



▲50㎡四方の単位で最大震度や建物全壊率などを表示

【全戸配布します】

マップは、自治会を通じて配布します。また、危機管理・防災課や西支所、加佐分室、各公民館、東・西図書館、各消防署などにも配置。市ホームページにも掲載します。

▶詳しくは、危機管理・防災課（☎66・1089）へ。

市役所 冬の節電対策

使用最大電力 11.5%～20%抑制

市では、市民の皆さんの健康と安全、地域経済に影響を及ぼさないことを基本に、昨年12月3日～今年3月29日まで冬季の節電対策に取り組みました。

市役所庁舎では、ウォームビズの実施と併せ室温を17℃に設定したほか、照明の間引き点灯などの実施

により、期間中の平日（9時～21時）における取り組みの実績は、平成22年度同月の使用最大電力を基準として11.5%～20%抑制することができ、各月において目標の10%を上回る結果となりました。

なお、3月29日で冬季の節電期間は終了しましたが、今後も平成23年夏季以降の節電対策により定着した取り組みを継続することにより、電力の使用の抑制を図ります。

▶詳しくは、生活環境課（☎66・1005）へ。

市制施行70周年、総合文化会館開館30周年 まいづる市民第九合唱団員を募集



▲1986年に行われた「舞鶴第九演奏会」の様子

12月23日（祝）に総合文化会館で行われる「まいづる市民第九演奏会」で指揮者の岩村力さんと京都市交響楽団と一緒に歌ってみませんか。

【対象】中学生以上

【定員】300人程度

【料金】3,000円（高校生以下は不要）

【結団式・練習日】いずれも総合文化会館

◆結団式…5月16日（木）19時30分から

◆練習日…毎週木曜日、19時30分～21時30分。

【申し込み方法】5月1日（水）までに所定の用紙（市役所受付、各公民館、東・西図書館、総合文化会館、市民会館に備え付け）で。

▶詳しくは、文化事業団（☎64・0880）へ。